



宮古市立 崎山小学校 中の浜課外学習
中の浜海ごみ調査学習

2021.6.8実施

清掃エリアと漂着ごみ分類 報告書

実施概要

日時： 6月8日（火） 10:00～12:00
場所： 中の浜海岸
対象者： 宮古市立崎山小学校 4 学年
児童数： 33名（男子16名 女子17名）
引率の先生 2名 小菅先生、笹原先生
スタッフ： 浄土ヶ浜ビジターセンター 佐々木、在原
環境省宮古自然保護官事務所
宮古市三陸ジオパーク推進協議会
指導： 岩手県立大学 渋谷晃太郎
内容：

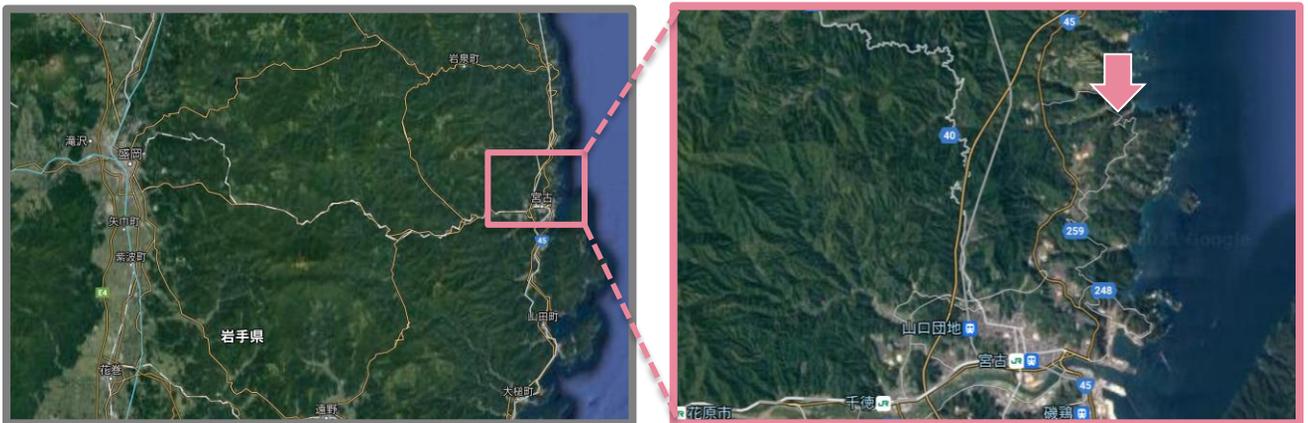
8:30	～	9:30	事前準備 海岸確認など
10:00	～	10:10	小学生移動（学校→中の浜）
10:15	～	10:25	開会（趣旨説明、講師紹介等）
10:25	～	10:30	海岸へ移動
10:30	～	10:50	海ごみ回収（コドラート内）
10:50	～	11:00	メモリアルパークに移動
11:00	～	11:20	海ごみの分類作業
11:20	～	11:45	海ごみクイズ
11:45	～	11:50	記念写真、閉会
11:50	～	12:00	小学生移動（中の浜→学校）



□ 清掃エリア（調査エリア）

岩手県宮古市に位置する中の浜。かつては海岸部に隣接する緑豊かなキャンプ場であったが、東日本大震災の際には15メートルを超える津波が押し寄せ、甚大な被害を受けた。現在は、キャンプ場のトイレと炊事場を震災遺構として保存し、被災した施設を被災した時のままに見せる「震災メモリアルパーク中の浜」として活用されている。

海岸には石の浜が続き、波打ち際は砂浜となっている。中の浜の対岸には宿漁港や沖防波堤がある。



□ 清掃エリア1・2と、各エリアの漂着ごみ分布状況

今回の清掃では、澁谷教授の指導のもと、海岸の中で安全が確保でき、比較的人工物の漂着が確認できるエリアをあらかじめ2箇所（1箇所の広さは10平方メートル）選定した。小学生を班分けし、エリア1は1～3班が清掃、エリア2は4～6班が清掃した。

尚、今回の清掃では漂着ごみでも人工物のみを収集した。



● 【清掃エリア1】

海岸のほぼ中央付近となるエリア1は、プラスチック製品や空き缶などのごみの漂着があった。



エリア1 (全景)



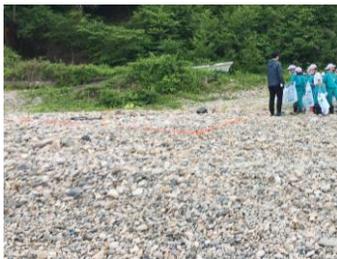
漂着していたごみ
(プラスチック片・金属)



収集されたごみ
(エリア1のみ)

● 【清掃エリア2】

エリア1よりやや内陸寄りのエリア2は、エリア1同様プラスチック製品や、漁具(ロープ)、バッテリーなどがあつた。



エリア2 (全景)



漂着していたごみ
(食品容器・バッテリー)



収集されたごみ
(2エリア合計)

❖ 6種に分類されたごみ



カケラ・破片



飲み物

飲み物



食べ物



釣り具・漁具



生活雑貨

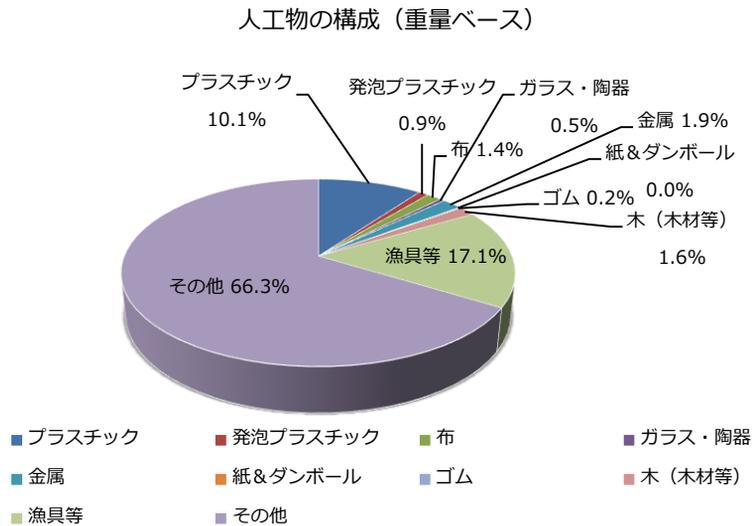


その他

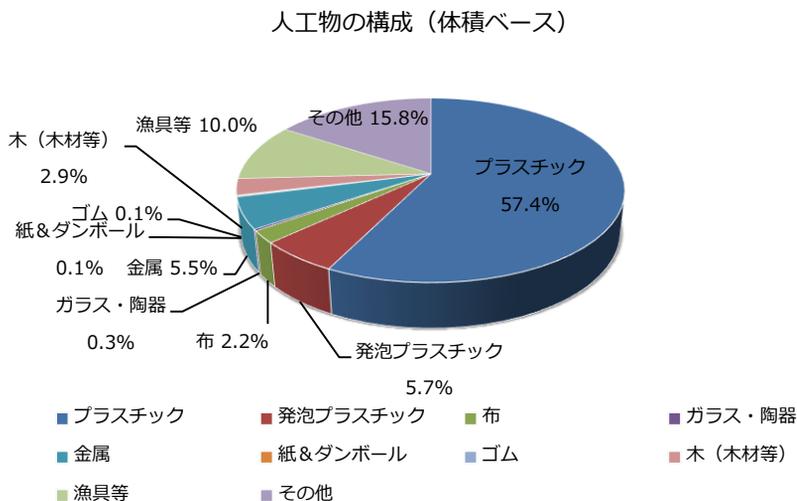
□ 収集したごみの構成

重量ベースでは、66.3%が「その他」となった。ついで、「漁具」17.1%、「プラスチック」10.1%、「金属」1.9%、「木（木材等）」1.6%ととつづいた。

「その他」の重量の多くは、バッテリーとアスファルトが占めている。



体積ベースでは、57.4%が「プラスチック」となった。ついで「その他」15.8%、「漁具」10.1%、「発泡プラスチック」5.7%、「金属」5.5%、「木（木材等）」2.9%ととつづいた。



□ 収集したゴミの体積、重量（実数） □ 収集したゴミの体積、重量（構成比）

	エリア1・2 合計	
	体積(L)	重量(kg)
自然物	-	-
人工物（合計）	69.7	31.66
プラスチック	40.0	3.2
発泡プラスチック	4.0	0.30
布	1.5	0.45
ガラス・陶器	0.2	0.15
金属	3.8	0.60
紙&ダンボール	0.1	0.01
ゴム	0.1	0.05
木（木材等）	2.0	0.50
漁具等	7.0	5.40
その他	11.0	21.00

	エリア1・2 合計	
	体積(L)	重量(kg)
自然物	-	-
人工物	-	-
プラスチック	57.4%	10.1%
発泡プラスチック	5.7%	0.9%
布	2.2%	1.4%
ガラス・陶器	0.3%	0.5%
金属	5.5%	1.9%
紙&ダンボール	0.1%	0.0%
ゴム	0.1%	0.2%
木（木材等）	2.9%	1.6%
漁具等	10.0%	17.1%
その他	15.8%	66.3%

□ 今回集められた海外からの漂着物（一例）

